

ごあいさつ

竜王町は、これまで「緑と文化の町」をキャッチフレーズとしてまちづくりを進めてきました。

この中で豊かな緑だけでなく、自動車工場をはじめ、たくさんの会社があり、最近では大型商業施設おおがたしょうぎょうしせつができるなど、昔のよさが残されながら、農業、商業、工業がバランスよく発展しています。一方、生まれてくる子どもが減り、若者の転出などで、住む人は年々減っています。

この計画は、「“ひと”そだ 育ち みんなで煌きらめく 交こうりゆう竜りゆうの郷さと」をめざしてつくりました。竜王町に住む人を増やしたり、住んでいる人がたのしく、しあわせに暮くらすことができるように「人」を大事にした計画です。

町民のみなさんが「住みやすくなったな」と思えるまち、ほかのまちから「来てよかったな」と思えるまちにするため、みんなでいっしょに取り組んでいきます。

この計画をつくるために、アイデアをいただいた町民のみなさん、会議に参加していただいた総合基本計画審議会委員しんぎかいのみなさん、関係者のみなさんにお礼を申し上げます。

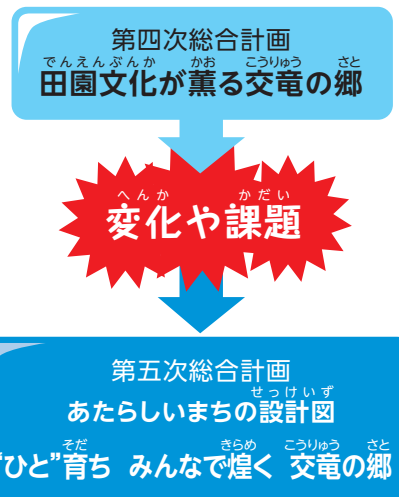
平成23年3月

竜王町長 竹山 秀雄たけやま ひでお



総合計画ってどんなもの？

竜王町では、これまでの10年間、「田園文化でんえんぶんかが薫かおる交こうりゆう竜りゆうの郷さと」をめざして、まちづくりを進めてきました。子どもが減っておとししちようりが増えたり、まわりの市町が合併がっぺいしたり、さまざまな変化へんかがありました。まちづくりを進めるためには、住んでいる人や活動している団体、会社、町役場などが、竜王町のよいところをのびしながら、みんなで役割分担することが大切です。そのため、みんなが同じ目標をもって、協力することができるよう、あたらしいまちの設計図せつけいずが必要になります。そこで、竜王町をどんなまちにしたいか考え、それを実現するための方法や優先順位を決めるためにこの計画をつくりました。



いつまでのことをきめられているの？

10年後の将来像しょうらいぞう（どんなまちにしたいか）をきめたものが「基本構想」、将来像を実現するために何をするかをきめたものが「基本計画」です。「基本計画」は、5年ごとに「前期基本計画」と「後期基本計画」にわかれています。そして、毎年何をするかきめたものが「実施計画」です。

